

2. 子どもの成長

② 本当に必要なものですか？

《ねらい》

○子どもにとって本当に必要なものを話し合うことで様々な価値観にふれ、子どもに物を与えるときに親としてどのようなことに配慮すべきか考える。

《準備物》

- 主催者（学校等）：ワークシート
- 参加者：筆記用具

	時間 (60分)	主な活動	発言	留意点	
導入	10	1. 学習のねらい			
		<p>アイポッドにスマホ、洋服等子どもは、流行りの物を欲しがります。そして親は、子どもやメディアなどの情報から、どうするか判断を迫られます。今日は、子どもに本当に必要なものを語り合う中で、親としての姿勢について考えてみましょう。その前にちょっとリラックスするために簡単なゲームをしましょう。</p>			
		2. アイスブレイク ・これが常識	アイスブレイク編 P14 参照	・グループを4人程度に分ける。	
		3. ルールとマナーの確認			
展開	5	4. ワークシートに記入する。 (ワーク1)	4. お子さんに、必要か不要かを考えて○をし、A～Cのランクを付けてみましょう。 書けたら、グループのメンバーの結果も聞いてみましょう。	・実態と違って構わないことを伝える。(必要ないと思っているのに与えてしまっている等)	
	25	5. グループで話し合う。 (ワーク2)	5. グループ内で、意見が違うものや聞いてみたいと思っていることを中心に思いや考えを話し合ひましょう。	・お子さんの実態や心配している事等自由に話しあってもらおう。	
	10	6. グループ毎に発表する。	6. 話し合いの内容を簡単に発表してください。	・どうして与えているか、与えないのはなぜか等、自分とは違う意見に耳を傾けてもらうようにする。	
まとめ	5	7. ふりかえり	7. 今後物を与えるときに配慮したいことを書きましょう		
	5	8. まとめ	<p>いかがでしたか？物と情報にあふれている今、子どもたちに過剰に物を与えすぎていることはないでしょうか？ 「子どもの言うことを何でも聞くことが親の優しさとは限らない」(P51)と、家庭教育手帳には書かれています。今の子どもたち、がまんする力が弱くなった、自分で判断できなくなったとよく言われます。 思うようにならないときの折り合いの付け方や自分で決断する等は、親として、教養育てておきたい力ですね。物を与える、与えない、どうするか自分で決めるということからも是非考えてみてください。</p>		

本当に必要なものですか？

子どもへ与える様々な愛情。形のないものもあれば形のあるものなど様々です。今日は、子どもに本当に必要なものか話し合う中で、親の姿勢について考えてみましょう。



ワーク1

下の項目について子どもに必要なものかどうか考え「不要」「必要」のどちらかの欄に○をし、気持ちの強さをA～Cでランクを付けてください。
*同じ欄にあるものも一つ一つ考えてみましょう。

【 A 強くそう思う B そう思う C どちらかといえば思う 】

子供に必要なもの？	不 要	A～C	必 要	A～C
① 毎月の小遣い				
② ゲーム機・ゲームソフト ミュージックプレイヤー（アイポッドやウォークマン等）				
③ 子ども部屋				
④ パソコン（共有含む）				
⑤ 個人用テレビ				
⑥ 携帯電話やスマートフォン				
⑦ 化粧品やヘアワックス、ヘアアイロン、香水				
⑧ 英語教材（塾・家庭教師含む）				
⑨ スポーツクラブ（小学校のスポ少、中学校の部活動以外のスポーツ活動）				
⑩ 遊び時間				

ワーク2

グループ内で意見が違うものを中心にお互いの思いや考えを出し合ひましょう。

memo

《今日を振り返って》

今後子どもに物を与えるときに、どのようなことに配慮すればよいか書きましよう。

